

【研究費区分】：戦略的研究支援枠

【研究代表者所属】：都市環境学部 建築都市コース 都市環境科学研究科建築学域

【研究代表者氏名】：小林克弘

【研究代表者氏名フリガナ】：コバヤシ カツヒロ

【研究代表者職】：教授

【国内研究分担者（所属, 氏名, 職）】

都市環境科学研究科建築学域・教授 吉川 徹（研究副代表者）

都市環境科学研究科建築学域・特任教授 青木 茂

都市環境科学研究科建築学域・准教授 一ノ瀬 雅之

都市環境科学研究科建築学域・教授 北山 和宏

都市環境科学研究科建築学域・教授 橘高 義典

都市環境科学研究科建築学域・教授 小泉 雅生

都市環境科学研究科建築学域・准教授 権藤 智之

都市環境科学研究科建築学域・教授 須永 修通

都市環境科学研究科建築学域・准教授 高木 次郎

都市環境科学研究科建築学域・准教授 多幾山 法子

都市環境科学研究科建築学域・教授 竹宮 健司

都市環境科学研究科建築学域・教授 角田 誠

都市環境科学研究科建築学域・准教授 鳥海 基樹

都市環境科学研究科建築学域・教授 永田 明寛

都市環境科学研究科建築学域・教授 山田 幸正

都市環境科学研究科建築学域・教授 芳村 學

都市環境科学研究科建築学域・特任助教 角野 渉

【国外研究分担者（所属, 氏名, 職）】

該当者なし

【研究課題名】：持続可能都市のための国際性と地域性を包括した建築生涯学の展開

【研究実績の概要（600～800字程度で記入。図，グラフ等の使用も可。）】

本研究は、従来から本研究組織が取り組んできた既存建築ストック活用研究に、新築分野を加え、建築の誕生、加齢そして再生までを扱う「建築生涯学」へと展開することを目的とする。地球環境問題や都市の均一化に対して、歴史と風土に根ざす各地域の建築の個性を重視し、特に、フランス、タイ、シンガポール、ベトナム、中国、韓国などとの比較を通じて、国際性と地域性を包括し、これからの持続可能な国際社会の発展に寄与する建築学体系の構築を目指す。

本年度は、以下の8つの個別研究テーマ、研究分担者（○は個別研究テーマのリーダー）、共同研究者（建築学域助教・特任助教・RAであり、*で示す）を設定して研究を進めた。

I. エイジングと風格ある加齢 担当：○橘高・角田・山田，松沢晃一*

II. 既存ストックの補強に関し、構造種別に対応した技術選択，理論と事例の対応，実践 担当：○芳村・北山・高木・多幾山，遠藤俊貴*

III. 既存ストックのコンバージョンの国内外比較，社会システムとの適合性 担当：

○小林・北山・須永，角野渉*

IV. 既存ストックのリファイニングの実践，体系化，国際的展開の可能性 担当：○青木・高木・角田・吉川，松本真澄*

V. 地域施設の再編成・配置理論に関する国内外比較および社会のニーズとの対応 担当：○吉川・竹宮・角田，李祥準*，讚岐亮*，鈴木達也*，金聖龍*

VI. 21世紀の超高層建築の地域性の国際比較と地域文化との対応 担当：○永田・小林・鳥海，木下央*

VII. 風土と社会に根差した環境共生建築の国際比較と実践 担当：○一ノ瀬・小泉・須永，熊倉永子*，福留伸高*，光嶋裕介*，猪熊純*

VIII. 技術移転の障壁と社会システムとの対応 担当：○権藤・一ノ瀬・山田，廖昱嘉*

本研究課題への取り組みの初年度であったが，研究代表者・研究副代表者を含む運営会による研究進捗の管理運営の下に個別研究を展開するという方法で，円滑な研究推進を行いうることが確認できた。その成果は，充実した研究発表，外部資金獲得，国際交流の実践に示される通りである。次年度以降も，個別研究テーマを深化させると共に，「建築生涯学」への体系化・統合化を目指す。

【学会発表（発表題目，発表大会名，年月を記入）】

[個別研究テーマ I に関する学会発表]

- 1) 田村明日香，橘高義典，松沢晃一，熊野康子，田村昌隆：建築外壁パネルの印象評価に及ぼす光沢の影響に関する研究，日本建築学会大会，pp. 1045-1046，2014年9月
- 2) Yoshinori KITSUTAKA：Mechanical properties of corroded rebar in deteriorated reinforced concrete members，5th International Conference on Concrete Repair，2014年9月
- 3) Yoshinori KITSUTAKA：Evaluation of the degradation for reinforced concrete structures using digital X-rays pictures，The 6th International Conference of Asian Concrete Federation，2014.9

[個別研究テーマ II に関する学会発表]

- 4) 安田裕俊，高木次郎，遠藤俊貴，坂下義治：はぜ式折板による木造住宅の外装兼用耐震壁工法の開発基礎研究，日本建築学会大会学術講演梗概集（近畿），構造Ⅲ pp. 305-306，2014年
- 5) 坂下義治，高木次郎，遠藤俊貴：鋼製薄板による既存木造住宅の外付耐震壁工法の開発 その5 角波鋼板を用いた実耐震補強例，日本建築学会大会学術講演梗概集（近畿），構造Ⅲ pp. 307-308，2014
- 6) 柳佑樹，高木次郎，遠藤俊貴，浅沼愛実：鋼製薄板による既存木造住宅の外付耐震壁工法の開発 その6 角波鋼板耐震補強壁の実験的耐力評価，日本建築学会大会学術講演梗概集（近畿），構造Ⅲ pp. 309-310，2014年
- 7) 浅沼愛実，高木次郎，遠藤俊貴：鋼製薄板による既存木造住宅の外付耐震壁工法の開発 その7 角波鋼板耐震壁の解析的検討，日本建築学会大会学術講演梗概集（近畿），構造Ⅲ pp. 311-312，2014年

[個別研究テーマ III に関する学会発表]

- 8) 角野渉，小林克弘，以下6名：西安におけるコンバージョン建築の調査研究 旧市街地の転用事例に見られるデザイン手法，2014年度日本建築学会大会（近畿）学術講演梗概集 建築歴史・意匠，pp. 385-386，2014年
- 9) 竹田寛治，小林克弘，角野渉，以下5名：北京におけるコンバージョン建築の調査研究 その1 近年の動向および芸術区を除く転用事例に見られるデザイン手法，2014年度日本建築学会大会学術講演梗概集 建築歴史・意匠，pp. 387-388，2014年9月14日
- 10) 上田将也，小林克弘，角野渉，以下5名：北京におけるコンバージョン建築の調査研究 その2 798芸術区の転用事例に見られるデザイン手法 2014年度日本建築学会大会（近畿）学術講演梗概集 建築

歴史・意匠, pp. 389-390, 2014年9月14日

- 11) 塚田勇輝, 小林克弘, 角野渉, 以下5名: 北京におけるコンバージョン建築の調査研究 その3 751 D-Park, 競園の転用事例に見られるデザイン手法, 2014年度日本建築学会大会(近畿)学術講演梗概集 建築歴史・意匠, pp. 391-392, 2014年9月14日
- 12) 中村駿太, 小林克弘, 木下央, 角野渉, 以下7名: 台湾におけるコンバージョン建築の調査研究 その1 公共系・軍事系施設からの転用事例に見られるデザイン手法, 2014年度日本建築学会大会(近畿)学術講演梗概集 建築歴史・意匠, pp. 393-394, 2014年9月14日
- 13) 川崎悠司, 小林克弘, 木下央, 角野渉, 以下7名: 台湾におけるコンバージョン建築の調査研究 その2 産業系施設からの転用事例に見られるデザイン手法, 2014年度日本建築学会大会(近畿)学術講演梗概集 建築歴史・意匠, pp. 395-396, 2014年9月14日
- 14) 藤本祐太, 小林克弘, 木下央, 角野渉, 以下7名: 台湾におけるコンバージョン建築の調査研究 その3 居住系・商業系施設からの転用事例に見られるデザイン手法, 2014年度日本建築学会大会(近畿)学術講演梗概集 建築歴史・意匠, pp. 397-398, 2014年9月14日
- 15) 熊谷雄, 多幾山法子, 小林克弘: 歴史的煉瓦造建築物のコンバージョン前後における内部空間構成要素の変化—舞鶴赤れんがパークを対象として—, 2014年度日本建築学会大会(近畿)学術講演梗概集 建築歴史・意匠, pp. 205-206, 2014年9月12日
[個別研究テーマVに関する学会発表]
- 16) 恒川淳基, 堤洋樹, 李祥準, 水出有紀, 讃岐亮: 公共施設の再整備手法に関する研究—施設の評価と整備方針の検証, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 8010, pp. 1-2, 2014.9
- 17) 内山朋貴, 堤洋樹, 恒川淳基, 水出有紀, 池澤龍三, 橋本直子, 讃岐亮, 松村俊英: 施設白書の位置づけと評価手法に関する研究—公共施設白書に求められる情報の検討, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 8010, pp. 17-18, 2014年9月
- 18) 平井健嗣, 鶴原太郎, 李祥準, 堤洋樹, 小松幸夫: 公開情報を利用した地方自治体の現状把握の可能性, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 8010, pp. 19-20, 2014年9月
- 19) 山本紫月, 小松幸夫, 李祥準: 基礎自治体における資産及び財政についての評価手法に関する研究—基礎自治体類型化による比較・評価, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 8011, pp. 21-22, 2014.9
- 20) 中村明惟子, 李祥準, 平井健嗣, 小松幸夫: 地方自治体の公共施設維持管理費に関する研究, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 8012, pp. 23-24, 2014年9月
- 21) 讃岐亮, 堤洋樹, 恒川淳基: 都道府県と市区町村の公共施設保有量の関係, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 8010, pp. 25-26, 2014年9月
- 22) 宮下このみ, 李祥準, 小松幸夫: 合併都市における既存建築の活用実態に関する研究, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 8091, pp. 181-182, 2014年9月
- 23) 金聖龍, 関根千紗乃, 竹宮健司: ソウル特別市における「敬老堂」の整備状況—自立高齢者のための余暇・支援施設の計画に関する研究(その1), 日本建築学会大会学術講演梗概集 E-1 分冊, pp. 165-166, 2014年
- 24) 関根千紗乃, 金聖龍, 竹宮健司: ソウル特別市における「敬老堂」の事例調査—自立高齢者のための余暇・支援施設の計画に関する研究(その2), 日本建築学会大会学術講演梗概集 E-1 分冊, pp. 167-168, 2014年
- 25) Sangjun Yi, Hiroki Tsutsumi, Kenji Hirai, Ryo SANUKI, Yukio Komatsu: Improving the Efficiency of Public Facilities Management in Municipalities—Focused on the Present Conditions and the Prospects of Municipalities, Conference on Architectural Institute of Korea, Vol.34 no.2, pp. 63-64, 2014年10月
- 26) Ryosuke TERAOKA, Makoto TSUNODA, Sangjun YI: A Study About Positive Utilization Of Non-Repair Closed School-Buildings, Conference on Architectural Institute of Korea, Vol.34 no.2, pp. 135-136, 2014年10月
- 27) Shunichi OHDATE, Makoto TSUNODA, Sangjun YI, Hiroki Tsutsumi: A Proposal For Regional

Revitalization Methods By Townscape Redevelopment And The Decentralization Of City Hall, Conference on Architectural Institute of Korea, Vol. 34 no. 2, pp.129-130, 2014.10

- 28) Kenji Hirai, Sangjun Yi, Hiroki Tsutsumi, Yukio Komatsu: Possibility of Local government Condition Analysis by Public Information, Conference on Architectural Institute of Korea, Vol.34 no.2, pp.681-682, 2014年10月

[個別研究テーマ VI に関する学会発表]

- 29) 鈴木隆一, 小林克弘, 永田明寛, 鳥海基樹, 木下央, 他3名: 近年の高層建築デザインに関する分析 (その10) モスクワにおける動向及び代表的事例, 2014年度日本建築学会大会(近畿)学術講演梗概集, pp.375-376, 2014年9月14日
- 30) 橋口十希, 小林克弘, 永田明寛, 鳥海基樹, 木下央, 他3名: 近年の高層建築デザインに関する分析 (その11) ベトナムにおける動向及び代表的事例, 2014年度日本建築学会大会(近畿)学術講演梗概集, pp.377-378, 2014年9月14日
- 31) 宮脇大地, 小林克弘, 永田明寛, 鳥海基樹, 木下央, 他3名: 近年の高層建築デザインに関する分析 (その12) 上海における動向及び代表的事例, 2014年度日本建築学会大会(近畿)学術講演梗概集, pp.379-380, 2014年9月14日
- 32) 井内良多, 小林克弘, 永田明寛, 鳥海基樹, 木下央, 他3名: 近年の高層建築デザインに関する分析 (その13) 北京における動向及び代表的事例, 2014年度日本建築学会大会(近畿)学術講演梗概集, pp.381-382, 2014年9月14日
- 33) 大林和磨, 小林克弘, 永田明寛, 鳥海基樹, 木下央, 他4名: 近年の高層建築デザインに関する分析 (その14) 台湾における動向及び代表的事例, 2014年度日本建築学会大会(近畿)学術講演梗概集, pp.383-374, 2014年9月14日

[個別研究テーマ VII に関する学会発表]

- 34) 熊倉永子, 村上暁信, 中大窪千晶: パッシブデザインを適用した街区のランドスケープ設計における熱環境シミュレータの導入, 日本建築学会大会学術講演梗概集, pp.1047-1048, 2014.9
- 35) 岡島えみこ, 須永修通, 中島風: 多摩ニュータウンの集合住宅における断熱改修効果に関する研究, 日本建築学会大会学術講演梗概集 D-2分冊, pp.547-548, 2014年9月
- 36) 中島風, 須永修通, 岡島えみこ: 多摩ニュータウンの集合住宅における住戸位置別の断熱改修効果に関する研究, 日本建築学会大会学術講演梗概集 D-2分冊, pp.549-550, 2014年9月
- 37) 小倉 啓介, 須永 修通, 大塚 弘樹, 一坊寺 英夫: 透光性断熱材を用いた断熱障子の熱・光環境性能に関する研究 - 従来の窓付属物との比較 -, 日本建築学会大会学術講演梗概集 D-2分冊, pp.137-138, 2014年9月
- 38) Masayuki Ichinose: Retro-reflecting window film with spectral selectivity against near-infrared solar radiation for improving daylighting and mitigation of heat-islands, Advanced Building Skins 2014, pp.123-136, Bressanone, Italy, Oct. 2014年
- 39) Kensuke Toki, Masao Koizumi 他:, Zero Carbon Buildings Today and in the Future 2014, 『Life Cycle Carbon Minus House』, Birmingham 2014年9月11日
- 40) Eiko Kumakura, Akinobu Murakami, Syunsaku Miyagi, Hiroki Takahashi: Landscape design process using thermal environmental simulation for passive residential district project in Japan, Ground Renewable Energy, Proceedings, Tokyo, Japan, 2014年7月
- 41) 中島風, 須永修通: 多摩ニュータウンの集合住宅における断熱改修と熱中症発生リスクの関係性, 太陽/風力エネルギー講演論文集, pp.101-104, 2014年11月
- 42) Nobuyuki Sunaga, Hiroki Otsuka, Hideo Ichiboji, Yasuo Iwahashi and Lise Guillerm: Energy and thermal performance of a retrofit house in Japan, Proceedings of Grand Renewable Energy 2014, O-At-5-1, 2014年7月
- 43) Yuta ENDOH, Nobuyuki SUNAGA, Yasuhiko HATA, Hiroko ONODERA and Yuji KAWAKAMI: Study on suggestons of energysaving behavior suitable for household characterristics - Factors that

influence the practice -, Proceedings of Grand Renewable Energy 2014, 0-At-7-4, 2014年7月

[個別研究テーマ VIII に関する学会発表]

- 44) 恒川淳基, 堤洋樹, 李祥準, 水出有紀, 讃岐亮: 公共施設の再整備手法に関する研究 -施設の評価と整備方針の検証, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 8010, pp.1-2, 2014年9月
- 45) 内山朋貴, 堤洋樹, 恒川淳基, 水出有紀, 池澤龍三, 橋本直子, 讃岐亮, 松村俊英: 施設白書の位置づけと評価手法に関する研究 -公共施設白書に求められる情報の検討, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 8010, pp. 17-18, 2014年9月
- 46) 平井健嗣, 鶴原太郎, 李祥準, 堤洋樹, 小松幸夫: 公開情報を利用した地方自治体の現状把握の可能性, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 8010, pp.19-20, 2014年9月
- 47) 山本紫月, 小松幸夫, 李祥準: 基礎自治体における資産及び財政についての評価手法に関する研究 -基礎自治体類型化による比較・評価, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 8011, pp.21-22, 2014.9
- 48) 中村明惟子, 李祥準, 平井健嗣, 小松幸夫: 地方自治体の公共施設維持管理費に関する研究, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 8012, pp.23-24, 2014年9月
- 49) 讃岐亮, 堤洋樹, 恒川淳基: 都道府県と市区町村の公共施設保有量の関係, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 8010, pp.25-26, 2014年9月
- 50) 宮下このみ, 李祥準, 小松幸夫: 合併都市における既存建築の活用実態に関する研究, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 8091, pp.181-182, 2014年9月
- 51) 山下悦男, 平井健嗣, 李祥準, 小松幸夫: 既存 RC 建築物の性能向上改修に関する実験的研究 その2 実大モデルを用いた外断熱改修の効果, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 8030, pp.59-60, 2014年9月
- 52) 佐野鞠子, 角田誠, 李祥準: 住宅改善を担う施工業者の生産体制に関する調査研究リフォーム工事における業者間の組織編成, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 8131, pp.261-262, 2014年9月
- 53) 忠快仁, 角田誠, 李祥準: 分譲集合住宅における「住みながら改修」に関する研究 -居住者に及ぶ工事影響と設計監理・施工管理業務に着目して -, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 8133, pp.265-266, 2014年9月
- 54) 藤川理子, 角田誠, 李祥準: 分譲マンションの耐震改修設計時に発生する付随業務に関する研究, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 8140, pp.279-280, 2014年9月
- 55) 竹本汐里, 角田誠, 李祥準: オフィスビル外周壁の総合的改修に資する部材構成に関する調査研究, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 5048, pp.847-848, 2014年9月
- 56) Shiori TAKEMOTO, Makoto TSUNODA, Sangjun YI: A Study on Construction Members for Comprehensive Renovation of the External Wall in Office Building, Conference on Architectural Institute of Korea, Vol.34 no.2, pp.137~138, 2014年10月
- 57) Yuchia LIAO, Sangjun YI, Ryo SANUKI: DECISION-MAKING METHODOLOGIES CONSIDERING LIFE-CYCLE COST UNCERTAINTY -Case study on energy-saving condominium refurbishment-, Conference on Architectural Institute of Korea, Vol.34 no.2, pp.415~416, 2014年10月
- 58) Sangjun Yi, Hiroki Tsutsumi, Kenji Hirai, Ryo SANUKI, Yukio Komatsu: Improving the Efficiency of Public Facilities Management in Municipalities-Focused on the Present Conditions and the Prospects of Municipalities -, Conference on Architectural Institute of Korea, Vol.34 no.2, pp.63-64, 2014年10月
- 59) Ryosuke TERAOKA, Makoto TSUNODA, Sangjun YI: A Study About Positive Utilization Of Non-Repair Closed School-Buildings, Conference on Architectural Institute of Korea, Vol.34 no.2, pp.135-136, 2014年10月
- 60) Shunichi OHDATE, Makoto TSUNODA, Sangjun YI, Hiroki Tsutsumi: A Proposal For Regional Revitalization Methods By Townscape Redevelopment And The Decentralization Of City Hall, Conference on Architectural Institute of Korea, Vol.34 no.2, pp.129-130, 2014年10月

- 61) Kenji Hirai, Sangjun Yi, Hiroki Tsutsumi, Yukio Komatsu : Possibility of Local government Condition Analysis by Public Information, Conference on Architectural Institute of Korea, Vol. 34 no. 2, pp. 681-682, 2014 年 10 月

【論文発表又は著書発行（発表題目、著者、発表誌又は出版社、年月を記入）】

[論文発表]

- 1) 近藤起弘, 吉川徹, コンパクトシティ・システムを内包する 3 次元都市形態, 日本建築学会計画系論文集, 第 79 巻第 703 号, pp. 1923-1931, 2014 年 9 月
- 2) Kwanjong LEE, Sangjun YI, Tsunoda MAKOTO, Chun-Kyong LEE and Tae-Keun PARK : Current Status of Evaluation of Facility Condition in Korea, Proceedings of the 10th International Symposium on Architectural Interchanges in Asia, 2014 年 10 月
- 3) 赤池亮, 井上隆, 一ノ瀬雅之, 泉克樹, 岩崎大輝: 昼光の色味を反映させる照明・ブラインド制御に関する研究, 照明学会論文集, 第 5 巻, pp. 218-224, 2014 年 5 月
- 4) 三木秀樹, 一ノ瀬雅之, 須永修通, 中野民雄, 市川憲良: 空調設備分野における 3 次元部材データ作成の試行, 日本建築学会技術報告集, Vol. 20, No. 46, pp. 1125-1130, 2014 年 10 月
- 5) 松沢晃一, 橘高義典: ALC パネルの内部応力に関する実験的検討, 日本建築学会技術報告集, 掲載決定
- 6) 松沢晃一, 橘高義典, 刈田祥彦: コンクリートに埋め込まれた金属系アンカーの引抜き特性に及ぼす高温加熱の影響, 日本建築学会構造系論文集, 掲載決定
- 7) 松沢晃一, 橘高義典: 高温加熱の影響を受けたコンクリートの引張破壊特性に及ぼす粗骨材の影響, 日本建築学会構造系論文集, 掲載決定
- 8) 讃岐亮, 堤洋樹, 李祥準: 公共施設マネジメント広域連携がもたらす利便性向上効果の分析, 第 30 回建築生産シンポジウム論文集, pp. 221-226, 2014 年 7 月
- 9) 内山朋貴, 堤洋樹, 水出有紀, 李祥準, 讃岐亮, 恒川淳基: 公共施設ベンチマーキング手法に関する研究-公開情報を利用した施設総量の検討, 第 30 回建築生産シンポジウム論文集, pp. 239-244, 2014 年 7 月
- 10) 讃岐亮, 佐藤栄治, 熊川寿郎, 鈴木達也, 吉川徹: 大災害時における医療施設へのアクセシビリティ評価, 厚生労働統計協会『厚生の指標』, Vol. 61 No. 11, pp. 1-6, 2014 年 9 月
- 11) Eiko Kumakura, Akinobu Murakami, Kazuaki Nakaohkubo: A case study of landscape design for residential common space using a thermal environmental simulation tool, the 2nd Asia conference of International Building Performance Simulation Association, proceedings, Nagoya, Japan, 2014 年 11 月 (全文査読有り国際会議)
- 12) 多幾山法子, 南部恭弘, 渡辺千明, 林康裕: 斜め貫接合部を有する木造軸組架構の力学特性と耐震性評価, 日本建築学会構造系論文集, 第 79 巻, No. 701, pp. 691-968, 2014 年 7 月
- 13) 岡沢理映, 焦鍵, 木村友香, 小林素直, 多幾山法子, 渡辺千明, 林康裕: 伝統的木造家屋の防災対策および維持管理 ~災害危険度の異なる 7 地域の比較~, 日本建築学会技術報告集, Vol. 20, No. 46, 2014 年 10 月
- 14) 多幾山法子, 南部恭弘, 渡辺千明, 林康裕: 斜め貫接合部を有する木造軸組架構の力学特性と耐震性評価, 日本建築学会構造系論文集, 第 79 巻, No. 701, pp. 691-968, 2014 年 7 月
- 15) 藤川理子, 角田誠, 李祥準: 分譲マンションの耐震改修設計時に発生する付随業務の実態, 日本建築学会技術報告集第 21 巻第 47 号, pp. 281-284, 2015 年 2 月
- 16) 讃岐亮, 堤洋樹, 李祥準: 公共施設マネジメント広域連携がもたらす利便性向上効果の分析, 第 30 回建築生産シンポジウム論文集, pp. 221-226, 2014 年 7 月
- 17) 内山朋貴, 堤洋樹, 水出有紀, 李祥準, 讃岐亮, 恒川淳基: 公共施設ベンチマーキング手法に関する研究-公開情報を利用した施設総量の検討, 第 30 回建築生産シンポジウム論文集, pp. 239-244, 2014

年 7 月

[著書・研究報告書発行]

- 18) 小林克弘(分担執筆), 日本建築学会編, 日本の名建築167ー日本建築学会賞受賞建築作品集 1950-2013, 技報堂, 2014年4月
- 19) 李祥準(分担執筆), 公共施設マネジメントハンドブック, 日刊建設通信新聞社, 2014年7月
- 20) 山田幸正, アンケート調査報告書「登録有形文化財(建造物)に関する 2014 年度全国市町村アンケート調査 概報」 2014年8月
- 21) 山田幸正ほか, フェ・ワークショップ報告書:「歴史的都市・フェにいま必要なモノ」(日英 2 カ国語併記) 2014年12月
- 22) 小林克弘, 永田明寛, 鳥海基樹, 木下央編著:スカイスクレーパーズ, 鹿島出版会, 執筆中(近刊予定)

[専門雑誌掲載, 新聞掲載等]

- 23) 青木茂:『住-ABITARE 036 SPRING 2014』, Art and Design Publishing United, 2014年4月
- 24) 青木茂:『日経アーキテクチュア No. 1023』, 日経BP社, 2014年5月
- 25) 青木茂:『Sanko No. 305』, 三晃金属工業株式会社, 2014年6月
- 26) 青木茂:『新建築』, 株式会社新建築社, 2014年7月
- 27) 青木茂:『日経アーキテクチュア No.1028』, 日経BP社, 2014年7月
- 28) 青木茂:『新建築』, 株式会社新建築社, 2014年8月
- 29) 青木茂:『日経アーキテクチュア No.1030』, 日経BP社, 2014年8月
- 30) 青木茂:『新建築』, 株式会社新建築社, 2014年9月
- 31) 青木茂:『bp Vol.16』, 株式会社岡村製作所, 2014年10月
- 32) 青木茂:『月刊リフォーム』, テツアドー出版, 2014年10月
- 33) 青木茂, 金箱温春:『建築技術』, 株式会社建築技術, 2014年10月
- 34) 青木茂:『住-ABITARE 036 SPRING 2014』, Art and Design Publishing United, 2014年4月
- 35) 青木茂:『art4d 219』, Corporation 4d Ltd., 2014年10月
- 36) 青木茂:「建物のデザイン生かす 耐震化改修工事終わる 豊橋商工会議所」, 東日新聞, 2014年4月
- 37) 青木茂:「耐震改修が完了 豊橋商議所内で内覧会」, 中日新聞, 2014年4月
- 38) 青木茂:「豊橋商議所 120周年事業 本館耐震化とロビー改修」, 東愛知新聞, 2014年4月
- 39) 青木茂:「ビルの耐震補強再生工事が完了 豊橋会議所」, 中部経済新聞, 2014年4月
- 40) 青木茂:「戸畑図書館開館 青木茂氏が講演 新たな保存法提案 世界初の補強材を挿入」, 建設通信新聞, 2014年4月
- 41) 青木茂:「既存建築物を再生するリファイニング建築」, ビル経営, 2014年4月
- 42) 青木茂:「建築家青木茂氏のリファイニング建築 仙台で半壊認定を受けた建物を再生」, 全国賃貸住宅新聞, 2014年5月
- 43) 青木茂:「北九州市立戸畑図書館 注目集める「再生建築」外観維持 内部を耐震補強」, 新潟日報, 2014年8月
- 44) 青木茂:「北九州・戸畑図書館 注目集める再生建築 内部のみ耐震補強」, 日本海新聞, 2014年8月
- 45) 青木茂:「北九州の戸畑図書館 歴史的建造物を再生 外観変えず内部耐震化」, 愛媛新聞, 2014年8月
- 46) 青木茂:「注目のリファイニング 内部のみ耐震補強 外観保存」, 京都新聞, 2014年8月
- 47) 青木茂:「北九州・戸畑図書館 注目集める再生建築 外観を保存し耐震補強」, 徳島新聞, 2014年8月
- 48) 青木茂:「北九州・戸畑図書館 外観を保存し建物再生」, 南日本新聞, 2014年8月
- 49) 青木茂:「北九州戸畑図書館 内部のみを耐震補強 注目集める再生建築」, 伊勢新聞, 2014年8月
- 50) 青木茂:「内部のみ耐震補強 注目集める再生建築」, 高知新聞, 2014年8月
- 51) 青木茂:「築80年北九州・戸畑図書館 外観そのままおしゃれに変身 軽量化と補強で耐震改修」, 北海道新聞, 2014年8月

- 52) 青木茂:「外観保つ「再生」建築 北九州市・戸畑図書館 内部のみ補強」, 琉球新聞, 2014年8月
- 53) 青木茂:「建造物「リファイニング」北九州・戸畑図書館 歴史的な外観を残し耐震化」, 福井新聞, 2014年8月
- 54) 青木茂:「注目集める再生建築 内部のみ耐震補強 資金調達の道開く」, 神奈川新聞, 2014年8月
- 55) 青木茂:「北九州・戸畑図書館 注目集める再生建築 内部のみの耐震補強」, 四国新聞, 2014年9月
- 56) 青木茂:「歴史ある建物 しゃれた再生 北九州・戸畑図書館 外観変えず耐震補強」, 岩手日報, 2014年9月
- 57) 青木茂:「みなと銀行芦屋駅前支店 新工法で耐震改修し開業」, 神戸新聞, 2014年10月
- 58) 青木茂:「みなと銀行 芦屋駅前支店を改築 リファイニング建築方法採用」, 金融経済新聞, 2014年10月
- 59) 青木茂:「ワールド ビジネス サテライト, TV 東京, 2014年4月17日(木)」
- 60) 一ノ瀬雅之:「冬の震災対策・窓のコーールドラフト応急対策」, あさイチ・NHK 総合, 2014年12月1日

【科学研究費補助金への応募状況, 採択状況】

[新規採択および採択継続中]

- 1) 山田幸正 (研究代表者) : 科研費, 基盤研究 (A), 北部ベトナム・キリスト教会堂建築に関する建築史的研究 (H25-29), 26,700千円
- 2) 小林克弘 (研究代表者) : 科研費, 基盤研究 (B), 海外コンバージョン建築の開拓調査及び地域性と汎用性両面からのデザイン分析 (H26-29), 12,400千円
- 3) 吉川徹 (研究代表者), 科研費, 基盤研究 (C), 地域施設ストックの利用価値を人口分布と近隣ストックの状況から評価する手法の開発 (H24-26) 4,100千円
- 4) 北山和宏 (研究代表者) : 科研費, 基盤研究 (C), プレストレストコンクリート部材の各種限界状態に注目した変形性能評価手法の構築 (H25-27), 4,200千円
- 5) 角田誠 (研究代表者) : 科研費, 基盤研究 (C), 既存住宅の持続的発展のための地域密着型住宅改修支援技術の体系化 (H24-26), 3,500千円
- 6) 鳥海基樹 (研究代表者) : 科研費, 基盤研究 (C), フランスで進む行政区画不問のプロジェクト都市計画と可塑的ガバナンスに関する研究 (H25-27), 3,900千円
- 7) 多幾山法子 (研究代表者) : 科研費, 若手研究 (B), 歴史的煉瓦造建築物の耐震補強に資する耐震特性調査と振動実験 (H24-26), 3,350千円
- 8) 竹宮健司 (研究代表者) : 科研費, 挑戦的萌芽研究, 非制度依存型地域ケア施設の継続的実践分析に基づく地域生活支援システム・環境の構築 (H24-26), 3,100千円
- 9) 角野渉 (研究代表者) : 科研費, 研究活動スタート支援, 中国・台湾諸都市における建築コンバージョンの実態調査及びデザイン手法と都市的背景 (H25-26), 2,100千円
- 10) 讃岐亮 (研究代表者) : 科研費, 若手研究 (B), 可変単位地区問題の視点による道路距離評価モデルと人口集計代表点補正ツールの開発 (H25-26), 2,500千円
- 11) 多幾山法子 (研究分担者) : 科研費, 基盤研究 (A), 環境負荷低減を目指した既存木造住宅の低コスト耐震性能制御法の構築 (H24-27), 3,350千円
- 12) 一ノ瀬雅之 (研究分担者) : 科研費, 基盤研究 (B), 窓や日射制御・潜熱蓄熱を最適化した低コストで快適性の高い太陽熱暖房の開発 (H24-26), 1,400千円
- 13) 永田明寛 (研究分担者) : 科研費, 基盤研究 (B), 非定常CFDと日射・人体解析モデルの融合による不均一温熱環境シミュレータの開発 (H23-27), 1,700千円 (H23-25 配分額)
- 14) 北山和宏 (研究分担者) : 科研費, 基盤研究 (B), 接合部破壊型の柱梁接合部を含む多層鉄筋コンクリート造骨組架構の耐震設計法 (H25-27), 2,000千円
- 15) 李祥準 (研究分担者) : 科研費, 基盤研究 (B), 学校施設を核とした公共施設再編に関する調査研究 (H26-28), 13,000千円

[応募中]

- 16) 須永修通 (研究代表者) : 科研費, 基盤研究 (B), 地球温暖化と熱中症防止のためのアジアにおける

集合住宅の熱環境実態と性能向上 (H27-29), 19,795 千円

- 17) 一ノ瀬雅之 (研究代表者) : 科研費, 基盤研究 (B), 東南アジア諸都市におけるオフィスビルの環境性能実態 (H27~H30), 19,900 千円
- 18) 多幾山法子 (研究代表者) : 科研費, 基盤研究 (B), 静的加力実験に基づく木造建築物の履歴特性と繊維傾斜方向を考慮した解析モデルの構築 (H27-30), 20,000 千円
- 19) 吉川徹 (研究代表者), 讃岐亮 (連携研究者) : 科研費, 基盤研究 (C), 地域施設ストックの価値を人口分布, 利用率, 近隣ストックから評価する手法の開発 (H25-26), 4,382 千円
- 20) 角田誠 (研究代表者) : 科研費, 基盤研究 (C), 円滑な住宅改善システム構築のためのリノベーション解体工事技術の体系化 (H27~H29), 4,998 千円
- 21) 角野渉 (研究代表者) : 科研費, 若手研究 (B), アジア圏の建築コンバージョンの実態調査及びデザイン手法と都市的背景 (H27-30), 5,000 千円
- 22) 熊倉永子 (研究代表者) : 科研費, 若手研究 (B), 都市緑化設計支援のための樹木の日射遮蔽効果の可視化 (H27-29), 5,000 千円
- 23) 讃岐亮 (研究代表者) : 科研費, 若手研究 (B), 合併自治体や複数自治体広域連携における公共施設縮減の実態把握と理論モデルの構築 (H27-28), 4,382 千円

【国等の提案公募型研究費, 企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況】

[新規獲得]

- 1) 橘高義典 : 公募提案型研究費, 環境省原子力規制庁, 平成26年度高経年化技術評価高度化事業, コンクリート構造物の長期健全性評価に係る調査研究, 研究代表者, 1,367 千円
- 2) 一ノ瀬雅之 : 受託研究費, デクセリアルズ, 熱線再帰フィルムの環境負荷低減性能評価に関する調査委託 (H26), 総額 2,160 千円
- 3) 一ノ瀬雅之 : 受託研究費, 野村不動産, 府中天神町プロジェクトに関する環境性能実証に関する研究 (H26), 総額 7,452 千円
- 4) 一ノ瀬雅之 : 奨励寄付金, 三菱電機, より環境負荷の小さい建物を設計するための建物設備設計技術の確立 (H26), 総額 500 千円
- 5) 須永修通 : 共同研究, 東京都都市整備局「長寿命環境配慮住宅モデル事業に関する調査研究」(H26), 305 万円
- 6) 須永修通 : 共同研究, 積水化学工業(株)「住宅における省エネルギー行動に関する研究」, (H26-27), 108 万円
- 7) 多幾山法子 : 研究助成, 一般財団法人住総研, 伝統木造建物の耐震設計法の改良提案へ向けた実験的研究 横架材を有する架構の復元力特性 (H26.6-27.10), 100 万円
- 8) 小林克弘 : 研究助成, 一般財団法人住総研, コンバージョンを伴う居住施設の「受け継がれ方」に関する考察—国内外転用事例に見る「住まい」の継承可能性の比較分析 (H26.6-H27.10), 100 万円
- 9) 李祥準 : 受託研究費, 福島県公共資産戦略策定のための研究 (H26), 100 万円
- 10) 李祥準 : 受託研究費, 天理市における公共施設マネジメントに関する共同研究 (H26-27), 300 万円
- 11) 李祥準 : 受託研究費, 町田市公共施設マネジメントに関する共同研究 (H26-27), 280 万円
- 12) 李祥準 : 受託研究費, 八尾市公共施設マネジメント計画策定に関する共同研究 (H26-28), 300 万円

【その他社会貢献】

[公的審議会・委員会等の公的貢献] 注：学術学会委員は多数となるため、主要な物を除き省略した

- 1) 小林克弘：東京都建設局，東京都中央環状品川線換気所景観検討委員会 委員
- 2) 小林克弘：神栖市，PFI事業審査委員会 委員
- 3) 小林克弘：東京都一級建築士事務所協会，東京建築賞選考委員会 委員（都知事賞の選定も行う）
- 4) 小林克弘：(公財) 建築技術教育普及センター，建築技術教育普及調査事業等審査委員会 委員
- 5) 吉川徹：公益社団法人日本都市計画学会 学術委員会 副委員長
- 6) 吉川徹：多摩ニュータウン学会 会長
- 7) 吉川徹：八王子市都市計画マスタープラン検討委員会 副委員長
- 8) 吉川徹：台東区住宅マスタープラン策定委員会 委員長
- 9) 吉川徹：多摩市総合計画審議会 会長
- 10) 青木茂：よこはま多世代・地域交流型住宅整備・運営事業者選定等委員会 委員
- 11) 橘高義典：日本建築仕上学会 副会長
- 12) 橘高義典：経済産業省，日本工業標準調査会 臨時委員
- 13) 橘高義典：国土交通省，中央建設工事紛争審査会 特別委員
- 14) 橘高義典：原子力規制庁原子力規制委員会，調査検討会 委員
- 15) 北山和宏：公益社団法人・プレストレストコンクリート工学会 理事
- 16) 小泉雅生：一般財団法人地域総合整備財団まちなか再生支援アドバイザリーボード 委員長
- 17) 小泉雅生：代理公益社団法人 日本建築家協会（JIA）神奈川地域会 副代表
- 18) 小泉雅生：一般社団法人 日本建設業連合会 日本建築業協会賞（BCS賞）選考委員
- 19) 須永修通：瑞穂町新庁舎建設基本計画協議会 委員
- 20) 須永修通：日本太陽エネルギー学会 理事
- 21) 須永修通：Grand Renewal Energy 2014国際会議実行委員会委員（分科会4「環境建築」リーダー
- 22) 竹宮健司：日本医療福祉建築協会 理事
- 23) 竹宮健司：日野市，ユニバーサルデザインまちづくり推進協議会 会長
- 24) 竹宮健司：中野区，交通バリアフリー整備構想改定協議会 副委員長
- 25) 角田誠：国土交通省，大臣官庁官房営繕部総合評価委員会 委員
- 26) 角田誠：国土交通省，解体工事の適正な施工確保に関する検討会 委員
- 27) 角田誠：八王子市，都市計画審議会 委員
- 28) 角田誠：国土交通省，大臣官庁官房営繕部営繕技術検討会 委員
- 29) 角田誠：東京都，財務局 VE 技術審査委員会 委員
- 30) 山田幸正：日本イコモス国内委員会（ICOMS Japan）理事
- 31) 山田幸正：ICOMOS-CIAV（International Committee of Vernacular Architecture）日本代表（Voting Member）
- 32) 李祥準：川崎市資産改革検討委員会 委員
- 33) 李祥準：鎌倉市公共施設再編計画検討委員会 委員
- 34) 李祥準：建築保全センター公共施設ベンチマーキング研究会 主査
- 35) 李祥準：福島県資産戦略・施設長寿命化推進アドバイザー
- 36) 李祥準：会津若松市施設マネジメント推進アドバイザー
- 37) 李祥準：地方自治研究機構公共施設管理に関する調査委員会 委員
- 38) 李祥準：横須賀市施設配置適正化計画検討委員会 委員
- 39) 讃岐亮：八王子市都市復興マニュアル検討会 委員
- 40) 讃岐亮：八王子市職員都市復興図上訓練 ファシリテーター
- 41) 讃岐亮：八王子市都市復興マニュアル幹事会 幹事

[国際貢献・国際交流－①海外における講演およびシンポジウム]

- 1) 小林克弘：招待講演，Asian Cities Viewed from Two Aspects－Skyscrapers and Architectural Conversions, the Ecole Nationale Supérieure d'Architecture de Paris-Belleville (パリ東大に属する建築学校)，2014年10月16日
- 2) Tohru YOSHIKAWA: GreenCity2014, Opening Sessions, 首都大学東京建築学域の研究プロジェクトの成果紹介, Marne-la-Vallée, France, 2014年11月18日
- 3) 吉川徹，角田誠，青木茂：韓国ファシリティマネジメント学会(KFMA)とソウル大学共催の講演会，ソウル大学，2014年5月9日
- 4) 吉川徹，角田誠，青木茂，パクテゴン，ジョンヨンイル：大韓建築学会(AIK)と首都大学東京の共催の日韓共同シンポジウム，大韓建築学会，韓国ファシリティマネジメント学会，モクウォン大学，2014年5月8日
- 5) 青木茂：大韓建築学会大田世宗忠南支部韓日交流シンポジウム，韓国，2014年5月8日
- 6) 青木茂：KFMA・ソウル大学共同セミナー，韓国，2014年5月9日
- 7) 青木茂：ソフィア大学，ブルガリア，2014年6月16日
- 8) Masayuki Ichinose: Green City 2014, Invited lecture for round table discussion, Actual situation of residential buildings in Japan and discussion about “sustainable vs affordable”, Marne-la-Vallée, France, 2014年11月19日
- 9) 李祥準，讚岐亮，廖昱嘉：日本の公共施設マネジメントの現状，台北市政府体育局松山活動中心会議室，台湾内政府建築研究所会議室，国立高雄大学建築学系会議室，国立高雄第1科技大学営建工程系会議室，高雄市政府工務局会議室，台北科学技術大学における研究交流会，台湾，2014年9月22, 24, 25, 28日
- 10) 李祥準，讚岐亮，廖昱嘉：GISを用いた公共施設マネジメントと防災・危機管理への対応，建築物修繕更新相關制度紹介 ～日本公寓大廈「管理組合」的角色與任務～，高雄市政府工務局会議室，台湾，2014年9月22日
- 11) 李祥準：日本の施設維持管理に関する現状，延世大学建築学科，韓国，2014年3月19日
- 12) 熊倉永子：Seminar, Numerical Simulation of the Solar Shading Effects of Trees, National University of Singapore, Singapore, 2014年11月

[国際貢献・国際交流－②海外における学生も含めたワークショップ]

- 1) 山田幸正，一ノ瀬雅之，高木次郎：フエ科学大学建築学科・フエ外国語大学日本文化学科とのワークショップ「フエにいま必要なモノ」，2014年6月24日～26日，参加者：首都大学東京から教員3名・学生7名，フエ科学大学から教員7名・学生14名，フエ外国語大学から教員6名・学生7名，合計44名
- 2) 青木茂，一ノ瀬雅之：タイ・Sripatum 大学、King Mongkut's 大学とのワークショップ，2014年9月
- 3) 小泉雅生：オーストラリア・グリフィス大学（引率者：Karine Dupre）とのワークショップ（日本の気候風土のもとでの設計手法についての研究発表および討議），2014年7月9日，参加者：グリフィス大学より学生10名，首都大学東京より学生10名
- 4) 小泉雅生，中園昌志：国立ダナン工科大学建築学部・ダナン工科大学とのワークショップ，2014年9月26日，参加者：学生50名程度

[国際貢献・国際交流－③国際研究連携協定に向けての活動など]

- 1) 一ノ瀬雅之：タイ・Kasetsart 大学建築学部との MOU (Memorandum of Understanding) 締結，2014年9月
- 2) 一ノ瀬雅之：シンガポール国立大学デザイン環境学部との MOU (Memorandum of Understanding) 締結合意，2014年11月

- 3) 須永修通：中国 浙江省杭州市 浙江理工大学と 2014 年 4 月に国際交流協定を締結し、本課題の研究を開始

[国際貢献・国際交流－④海外研究者招聘による本学での研究交流]

- 1) 山田幸正：Turgut Saner 氏（イスタンブール工科大学建築学部建築史学科教授）の MARF 講演会「The Reception of European Styles in Ottoman Architecture of Eighteenth and Nineteenth Centuries」のコーディネーター，2014 年 5 月 14 日
- 2) 一ノ瀬雅之：Wong Nyuk Hien 氏（シンガポール国立大学教授）の MARF 講演会「Sustainable Urban and Green Building Design in the Tropics」のコーディネーター，2014 年 7 月
- 3) 一ノ瀬雅之：Dana Buntrock 氏（カリフォルニア大学バークレー校教授）の MARF 講演会「Not your Daddy's Oil Shock」のコーディネーター，2014 年 11 月
- 4) 一ノ瀬雅之：Steve Kardinal Jusuf 氏（シンガポール国立大学シニアリサーチフェロー）の講演会「Steve Tool / Urban Heat Island Research」のコーディネーター，2014 年 12 月
- 5) 李祥準：ホン テフン氏（延世大学准教授）の講演会「韓国の施設長寿命化と省エネに関する最新技術動向」のコーディネーター，2014 年 10 月 10 日
- 6) 讃岐亮：台湾銘伝大学と首都大学東京との「巨大災害発生時の医療施設へのアクセシビリティ」に関する研究交流会を開催，2014 年 10 月 29 日

[国内における生涯学習支援・普及啓発]

- 1) 青木茂：狛江市公民館・図書館再生市民プロジェクト（2014年5月15日東京）
- 2) 青木茂：UR 職員研修会（2014年5月29日東京）
- 3) 青木茂：関西建築技術研究会（2014年6月6日大阪）
- 4) 青木茂：宮崎県西都市研修会（2014年7月15日宮崎）
- 5) 青木茂：静岡県，住宅・建築物耐震化推進協議会講演会（2014年7月29日静岡）
- 6) 青木茂：文部科学省，学校施設長寿命化改修講習会（2014年8月26日宮城）
- 7) 青木茂：文部科学省，学校施設長寿命化改修講習会（2014年9月1日福岡）
- 8) 青木茂：平成 25 年版建築改修工事監理指針・公共建築改修工事標準仕様書 統合講習会（2014年10月14日，10月21日東京，大阪）
- 9) 青木茂：京都府立大学，京都政策研究センター共催セミナー（2014年10月22日京都）
- 10) 青木茂：宮崎県，西都市研修会（2014年10月28日宮崎）
- 11) 青木茂：建築基本法シンポジウム（2014年11月13日東京）
- 12) 李祥準：「～次の世代に負担を残さないために～」公共施設再編計画市民シンポジウム，鎌倉商工会議所地下ホール，2014 年 11 月 23 日
- 13) 李祥準：「地方自治体の公共施設問題と戦略的な公共施設マネジメントのあり方」，八尾市主催，公共施設マネジメント研修会，八尾市商工会議所，2014 年 11 月 19 日
- 14) 李祥準：「これからは公共施設マネジメントを実践しよう！そのためには・・・！」公共施設マネジメント市民シンポジウム，会津若松市會津稽古堂多目的ホール，2014 年 11 月 7 日
- 15) 李祥準：「地方自治体の公共施設問題と戦略的な公共 FM のあり方」，建設研修センター・建築保全センター共催『公共 FM と PRE 戦略』研修，建設研修センター，2014 年 10 月 15 日
- 16) 一ノ瀬雅之：建築ファサード・設備システムの実態性能評価～国際状況を踏まえて，関西建築技術研究会（大阪府建築健保会館），2014 年 10 月
- 17) 一ノ瀬雅之：ICT 活用による建築設備の成長戦略，第 47 回 建築設備技術会議（建築会館），2014 年 11 月
- 18) 角野渉：横浜市職員を対象とした都市デザイナー養成講座第 4 回「国内外のリノベーション建築と都市的背景」，2014 年 7 月 1 日

- 19) 須永修通 : BECC JAPAN 2014 (Behavior, Energy & Climate Change Conference) で住宅における推奨省エネ行動に関する講演 (<http://seeb.jp/wp-content/uploads/2014/10/2014BECC5-2Sunaga.pdf>)
2014年9月

【研究成果による特許等の工業所有権の出願・取得状況】

(工業所有権の名称, 発明者, 権利者, 工業所有権の種類・番号, 出願年月日, 取得年月日)

- ・ 高木次郎, 青木茂: 既存木造戸建て住宅の耐震補強性能を有する板金付加外装工法, 特願 2012-084342, 2012年4月2日, 特開 2013-213356, 2013年10月17日
- ・ 小泉雅生, 公立大学法人首都大学東京・YKK AP株式会社: 日射遮蔽装置, 特許第 5617145号 2014年9月26日登録

【研究分担額】 (研究代表者・分担者名, 所属, 金額 (円))

所属	氏名	摘要	金額 (円)
都市環境科学研究科 建築学域	小林克弘 (代表者) 吉川徹 (副代表者) 角野渉	運営費 (HP 作成費, 特任助教雇用等)	2,420,000
	橘高義典 角田誠 山田幸正	個別研究テーマ I	1,360,000
	芳村学 高木次郎 北山和宏 多幾山法子	個別研究テーマ II	1,760,000
	小林克弘 青木茂 吉川徹 竹宮健司	個別研究テーマ III, IV, V	1,130,000
	永田明寛 小林克弘 鳥海基樹,	個別研究テーマ VI	1,470,000
	一ノ瀬雅之 小泉雅生 須永修通 権藤智之	個別研究テーマ VII, VIII	1,860,000
			合計